

## 平成22年3月期 第3四半期決算説明

平成22 年 2 月 1 日

アイティメディア株式会社

証券コード:2148 東証マザーズ



本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

当社の業績に影響を与えうる事項は「平成21年3月期 有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

また、本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承下さい。

この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。

なお、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。



# 平成22年3月期 第3四半期 業績概要

#### 平成22年3月期 第3四半期 ハイライト: (1) 全社業績



連結経常利益△1百万
個別では2四半期連続で黒字達成

2. 売上も連結・個別共に2四半期連続で増収

	実績	第2四半期比
売上高	668百万円	+52百万円
営業利益	△4百万円	+25百万円
経常利益	△1百万円	+24百万円
当期純利益	△17百万円	△2百万円

#### 主な要因

#### 売上面

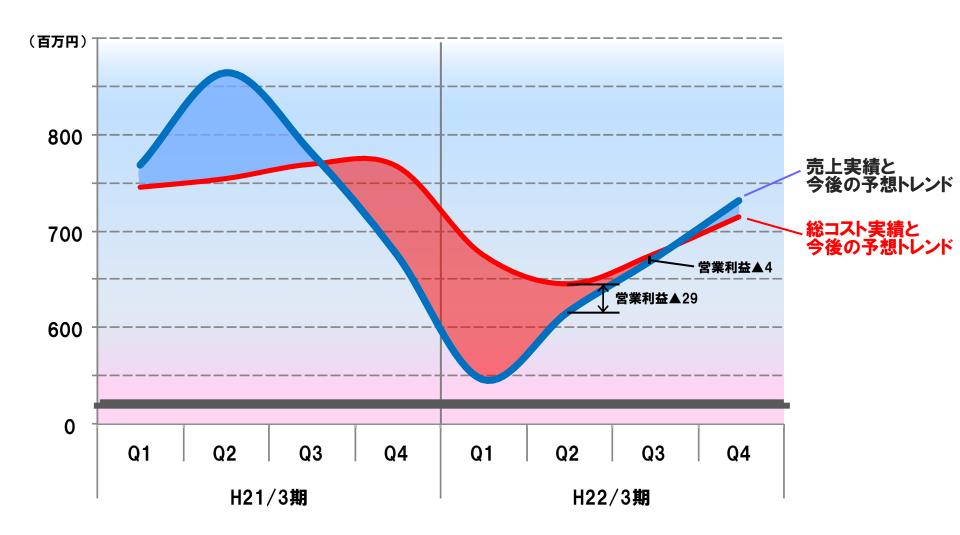
- ・ネット広告市場は回復基調であるものの、 速度は緩やか
  - インプレッション型広告は引き続き苦戦
- ・顧客のROI指向に応える
  - タイアップ型とターゲティング型を合わせた広告が健闘

#### 利益面

- ・コスト削減の効果により、期初に計画 した赤字削減の路線を維持
- ・顧客ニーズに対応したサービス提供に より、売上連動のコストが若干増加

## 当社業績トレンド(連結)





#### 平成22年3月期 第3四半期 ハイライト: (2) 各事業動向



事業動向

3. メディア事業の回復

- · 売上9%増(第2四半期比)
- ・「TechTargetジャパン」会員数は90,500名超へ増加
- 4. 人材関連サービス事業の減収
- ・引き続き厳しい求人市場の影響で売上30%減(第2四半期比) 会員数は 34,100名へ増加

- iPhone 3G向け商品など 新しい分野に積極的な メディア展開
- ・累積ダウンロード数29万 第2四半期比5万増
- ・広告商品の販売拡大

- 6. 米国ON24社との業務提携 バーチャルイベントの販売開始
- ・両社で日本市場向けにサービスをローカライズ
- ・広告代理店向け新商品説明会を開催(11月)
- ・来期に複数回の集合型バーチャルイベントを 企画・発表

#### 第3四半期に行った主な施策









- 10/1 IT企業の2011年度新卒採用情報を掲載開始
- 10/1 ヤマハミュージックメディアと子会社zoome、ボーカロイドの歌詞コンテストをクロス メディアで開催
- 10/16 米国ON24社との業務提携に関する基本合意の発表
- 10/20 「Twitter」と連動したニュース集約サイト「OneTopi」を開設
- 11/25 広告代理店向けに「アイティメディア媒体戦略説明会」を開催
- 11/25 バーチャルイベントソリューションの提供を開始
- 11/25 プロファイル数保証型の見込み客獲得支援サービス「リストROI」を開発・販売開始
- 12/17 E2パブリッシング株式会社の株式の取得(子会社化)を発表
- 12/18 ITエンジニアのスキルに対する調査結果を発表

## 平成22年3月期 第3四半期業績(連結)



(百万円)

	当四半期(10-12月)		前四半期(7-9月)		増減率	
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	668	100.0%	616	100.0%	+8.6%	
売上原価	279	41.7%	270	43.8%	+3.4%	
売上総利益	389	58.3%	345	56.0%	+12.6%	
営業利益	△4	_	△29	_	_	
経常利益	Δ1	_	△26	_	_	
当期純利益	Δ17 *	_	△15	_	_	

※特別損失、税効果は下記のとおりです。

固定資産除却損 2M 投資有価証券評価損 3M 法人税等 10M 注:百万円未満を切捨てて表示しております。

## 平成22年3月期 第3四半期業績(個別)



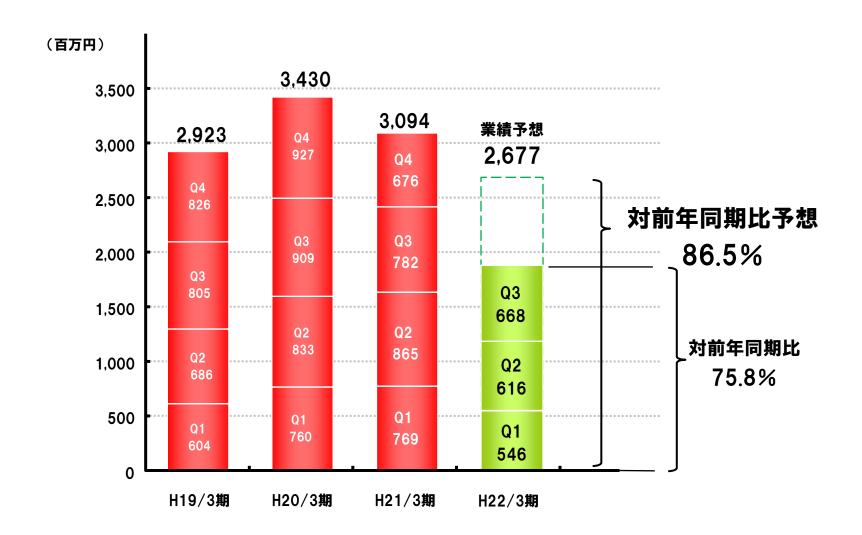
(百万円)

					(=7010)
	当四半期( 1	10-12月)	前四半期	増減率	
	金額	売上比	<b>金額</b>	売上比	
売上高	662	100.0%	608	100.0%	+8.9%
売上原価	257	38.8%	246	40.5%	+4.4%
売上総利益	405	61.2%	362	59.5%	+12.0%
営業利益	24	3.7%	Δ0	_	_
経常利益	27	4.1%	3	0.6%	+7.48倍
当期純利益	11	1.7%	13	2.2%	Δ18.6%

注:百万円未満を切捨てて表示しております。

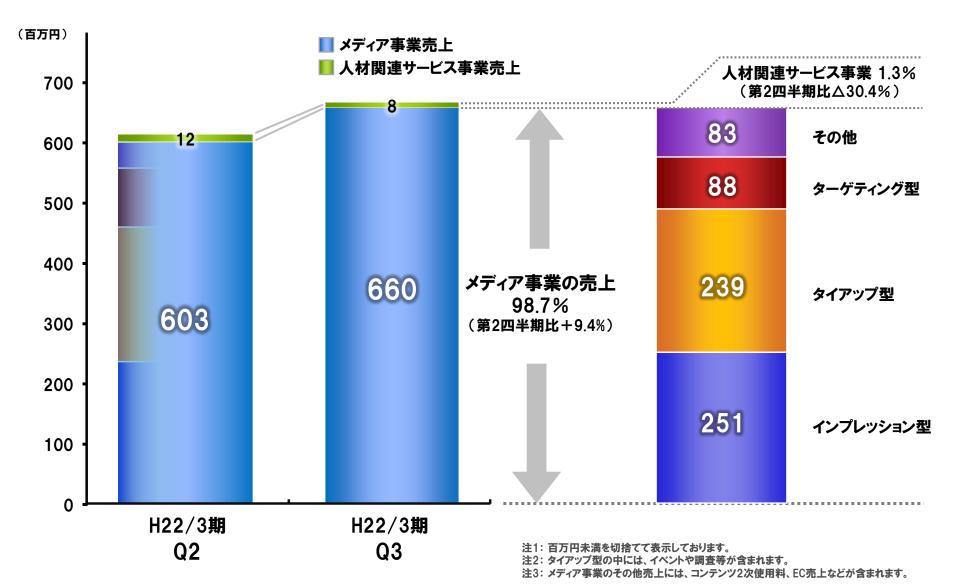
## 売上高の推移(連結)





## 売上構成比率(連結)



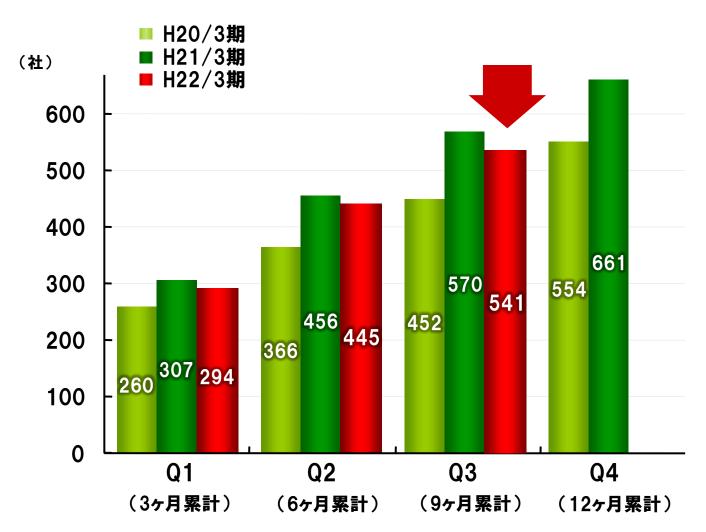


## 広告主数の推移(連結)



当四半期:対前年同期比 △5%(29社減)

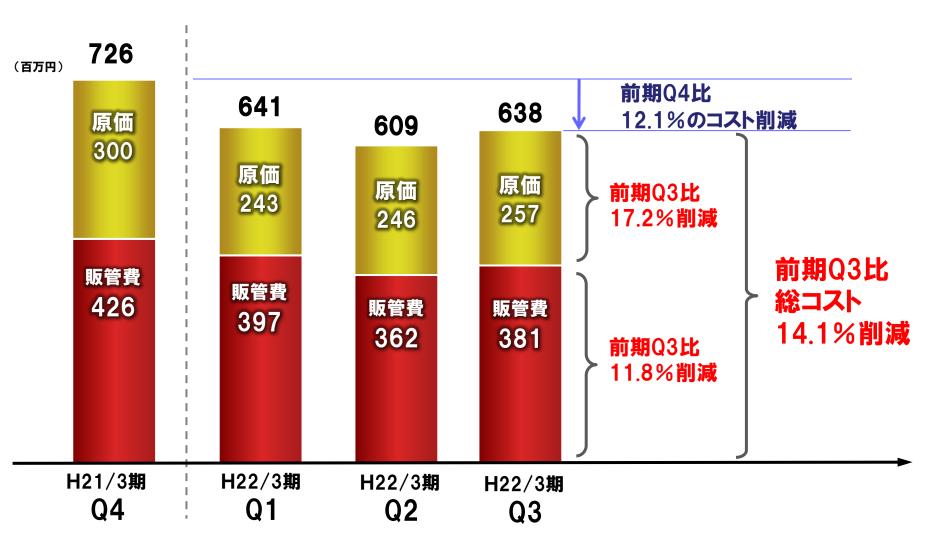
前四半期:対前年同期比 △2%(11社減)



### 総コストの10%削減進捗(個別)

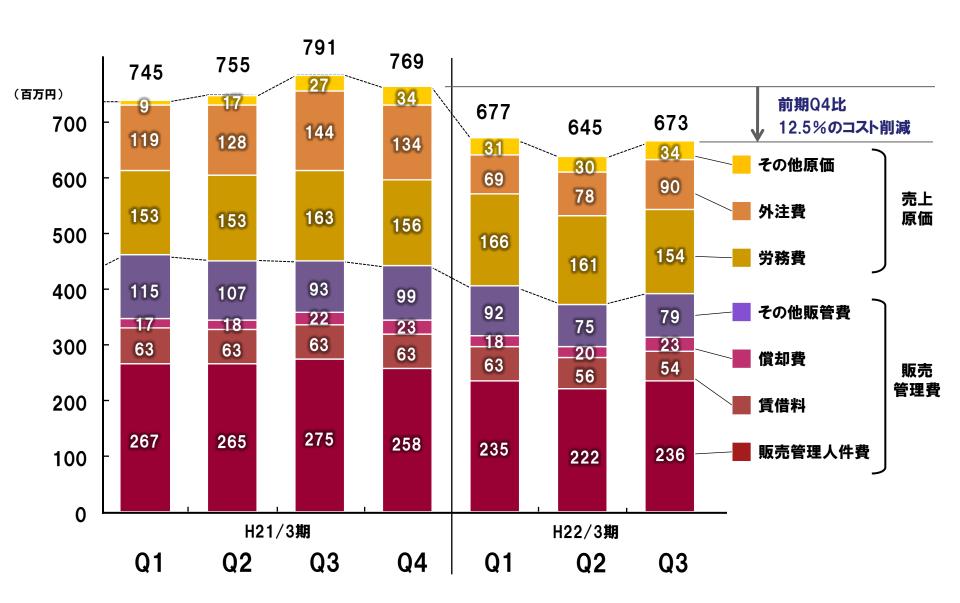


#### 計画以上のコストダウンを達成



## 四半期比較:売上原価、販管費構成(連結)



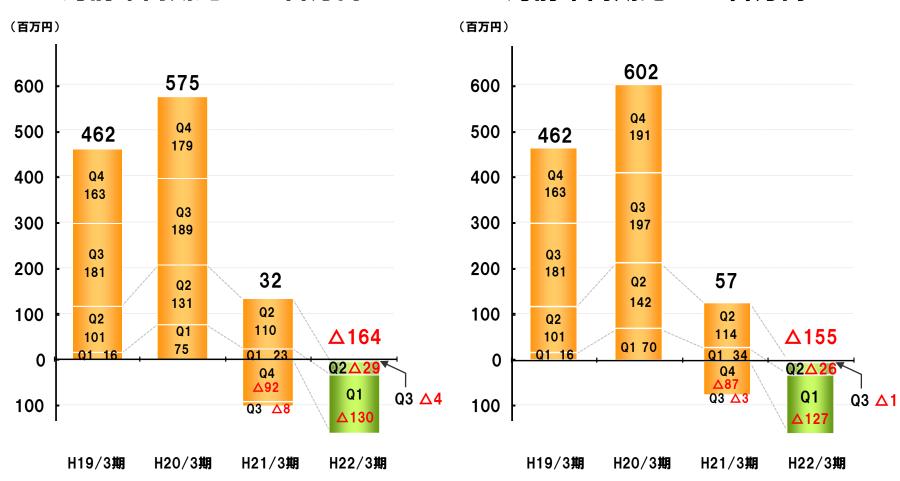


## 営業利益・経常利益の推移(連結)



## 営業利益 △4百万円 対前年同期比 +4百万円

## **経常利益 △1百万円** 対前年同期比 +1百万円

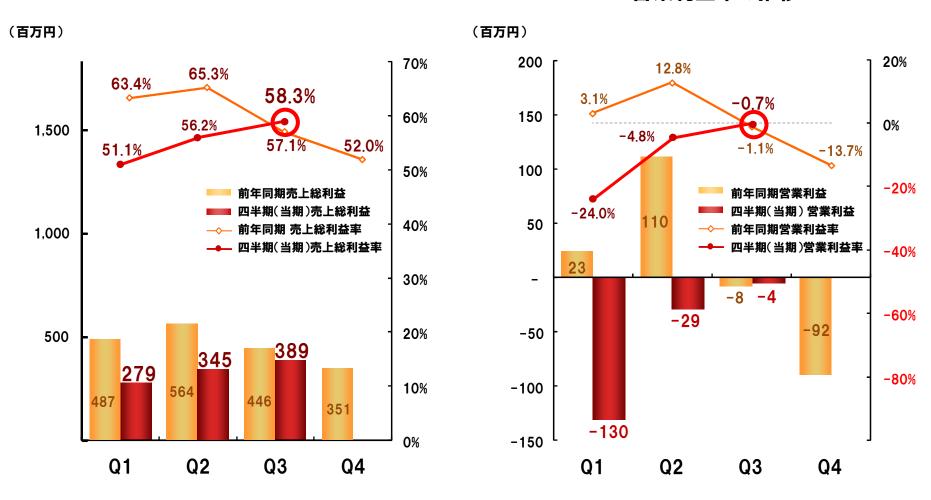


## 売上総利益・営業利益の推移(連結)



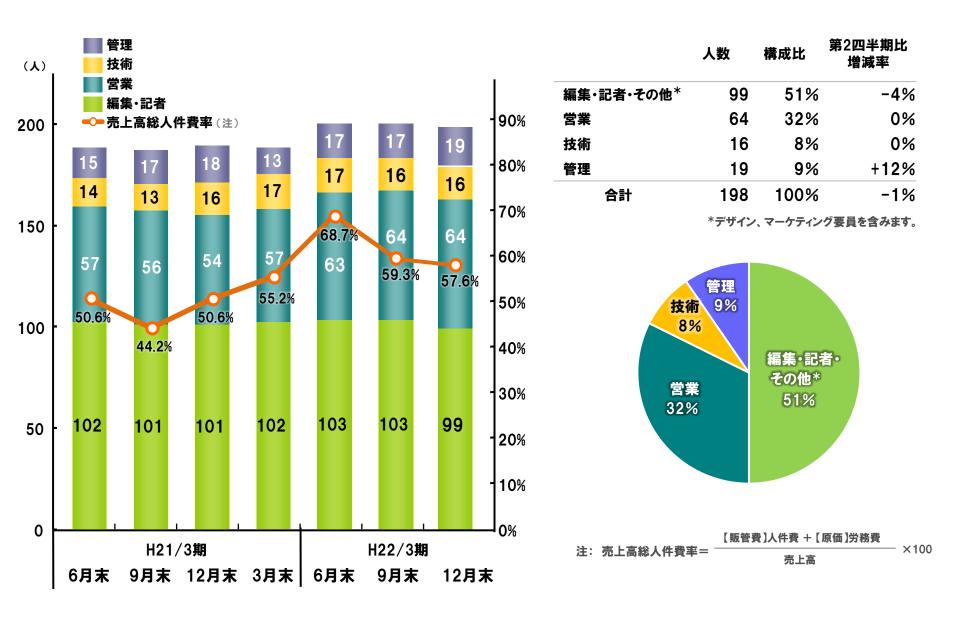
#### 売上総利益率の推移

#### 営業利益率の推移



## 従業員数の推移(連結)





## 要約:キャツシュ・フロー計算書(連結)



#### 当四半期に現金及び現金同等物の増減がプラスに反転

(百万円)

	H22/3期				H21/3期		
	Q1 (4-6月)	<b>Q2</b> (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	通期	Q3 (10-12月)	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73	19	△22	_	△76	△63	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338	△56	<b>72</b> *	_	∆323	10	217
財務活動によるキャツシュ・フロー	Δ0	Δ0	Δ0	_	Δ0	△43	△4
現金及び現金同等物の増減額	△412	∆37	+49	_	△400	△96	+265
現金及び現金同等物の期首残高	1,877	1,465	1,427	_	1,877	1,724	1,611
現金及び現金同等物の期末残高	1,465	1,427	1,476	_	1,476	1,627	1,877

\*:投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳

・有価証券の償還 100M

・有形固定資産の取得 ▲ 18M

・無形固定資産の取得 ▲ 9M

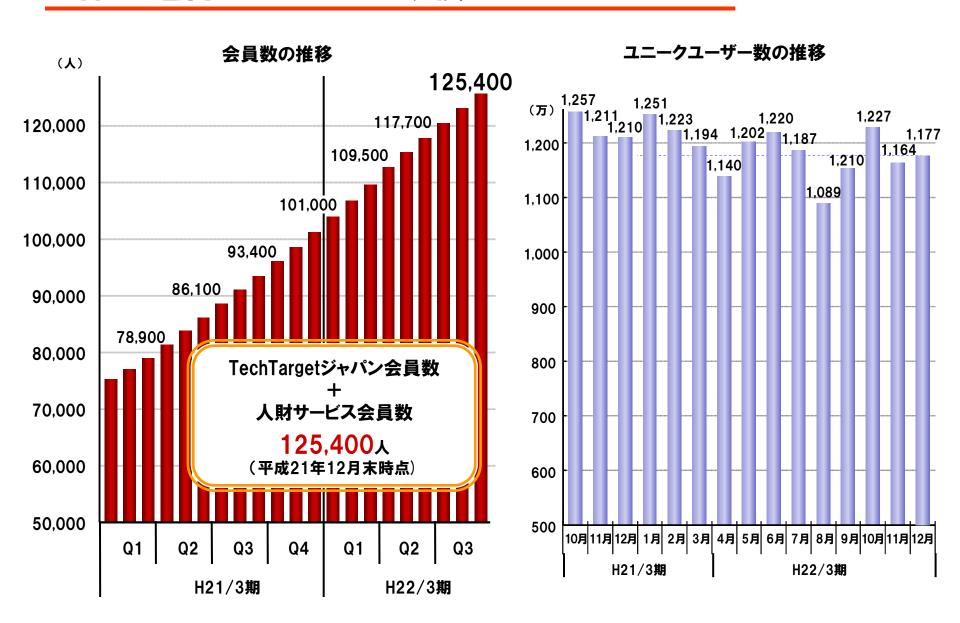
## 要約:貸借対照表(連結)



	(ご参考)			_		(ご参考)	
(百万円)	平成21年	平成21年	増減額	主な増減内容	平成20年	平成21年	平成21年
	9月末	12月末	(対Q2)	T-0-11/4/1-11	12月末	3月末	6月末
流動資産	2,578	2,555	△22		2,708	2,609	2,571
(うち現預金)	1,127	1,176	+49		1,327	1,877	1,165
(うち売掛金)	375	423	+48	売上増による増加	498	419	348
(うち有価証券)	899	799	∆99	有価証券の償還(100M)	799	199	899
固定資産	1,380	1,358	△22		1,494	1,490	1,461
(うち有形固定資産)	151	137	∆13		129	117	124
(うち無形固定資産)	275	267	Δ7		228	185	185
(うち投資その他の資産)	953	952	Δ0		1,135	1,187	1,150
資産合計	3,959	3,914	△44		4,202	4,099	4,032
	264	230	∆33		202	212	303
(うち賞与引当金)	89	42	△47	12月賞与支給による減少	38	84	41
(うち未払法人税等)	7	4	∆3		4	7	3
負債合計	268	234	∆33		202	212	308
資本金	1,620	1,620	+0		1,620	1,620	1,620
資本剰余金	1,664	1,664	+0		1,664	1,664	1,664
利益剰余金	453	435	∆17	当期純損失による減少	754	637	469
自己株式	△ 44	∆44	+0		△44	△44	△44
株主資本合計	3,694	3,676	∆18		3,995	3,877	3,709
その他有価証券評価差額金	Δ3	Δ1	+2		△5	Δ3	Δ0
新株予約権	0	4	+3		10	12	13
純資産合計	3,690	3,679	Δ11		4,000	3,886	3,723
負債·純資産合計	3,959	3,914	∆44		4,202	4,099	4,032

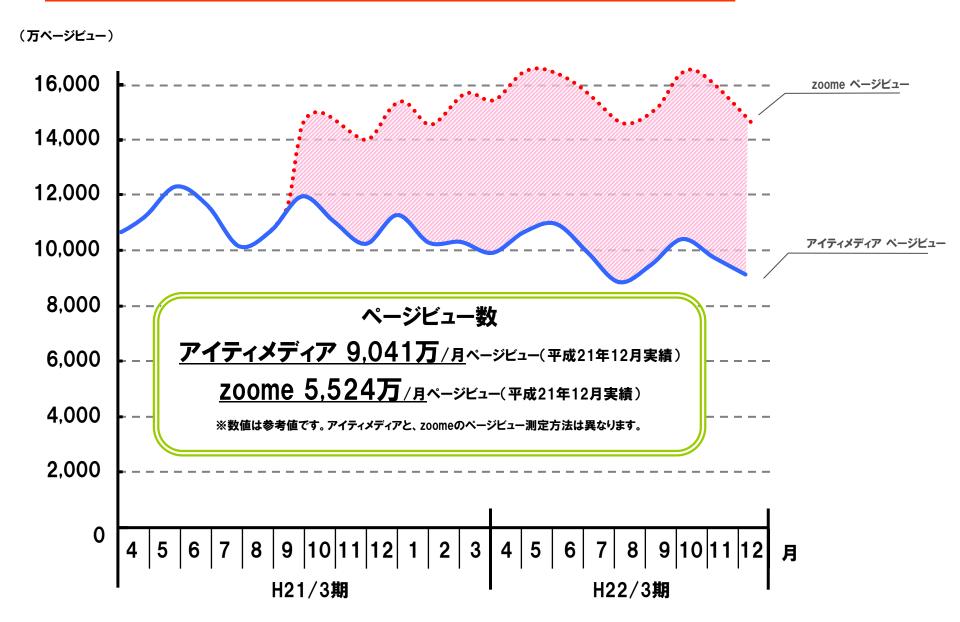
### 当社の運営するメディアの規模(アイティメディア)





## 当社グループの運営するメディアの規模(連結)







## 事業部門別 業績概要と取り組み

## セグメントおよび事業分野・部門一覧



セグメント (7/29より)	分野	部門	旧セグメント
	技術者向け専門情報分野		テクノロジー・メディア事業
	情報システム部門向け専門情報分野		エンタープライズ・メディア事業
	経営層向けコミュニティ分野	ITインダストリー 事業部門	エノブーノブイス・アノイが事業
メディア事業	会員向け購買支援情報分野		ターゲティング・メディア事業
	環境ビジネス情報分野		_
	ビジネスパーソン向けニュース情報分野	<b>レ</b> ミシフ・	ビジネス・メディア事業
_	デジタル関連機器製品情報分野	ビジネス・コンシューマー	
	音楽情報分野	事業部門	ライフスタイル・メディア事業
	動画投稿コミュニティ分野	zoome株式会社	
	キャリアアップ及び転職支援情報分野	人財支援	人財事業
人材関連 サービス事業	会員向け転職支援サービス分野	事業部門	<b>/</b> (ボ) <b>デ</b> 来

注:事業部門名称としては「人財」と表記していますが、セグメント名称としては一般的な表記である「人材」としています。

#### ITインダストリー事業部門



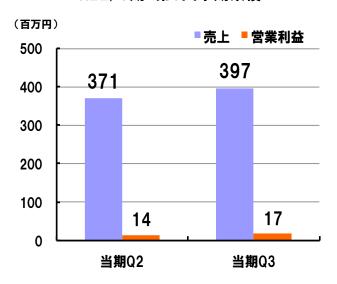
#### ◇ 平成22年3月期 第3四半期の事業動向

- ・前Q比 増収増益の3四半期継続
  - タイアップ型広告と顧客単価の回復傾向が継続
  - 主力メディア以外でも売上回復
- ・ターゲティング型商品の拡大
  - プロファイル数保証型商品「リストROI」を開始
  - バーチャルイベントの販売開始
- ・新規メディアへの投資継続
  - エレクトロニクス分野の「@IT MONOist」は増収、赤字幅縮小
  - 「環境メディア」は投資継続

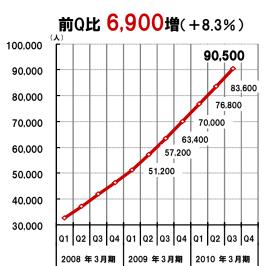
#### ◇ 平成22年3月期 第4四半期以降の施策

- ・エレクトロニクス分野の拡大
  - 「EE Times ジャパン」のE2パブリッシング社を合併予定
  - 「@IT MONOist」とともに、ターゲティング型商品を投入
- ・バーチャルイベント事業化スタート
  - 当期中に複数回の開催により、業績に貢献
  - 来期に向け積極的に営業を展開
- ・「TechTarget」取り扱い分野を拡大
  - 現在の10から18ヘジャンルを増加
  - 「医療IT」など新ジャンルに挑戦

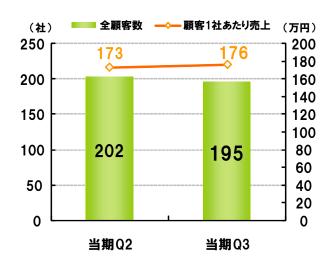
#### H22/3期 第3四半期業績



#### TechTargetジャパン会員数の推移



#### 広告主数の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数

注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

#### ビジネス・コンシューマー事業部門



#### ◇ 平成22年3月期 第3四半期の事業動向

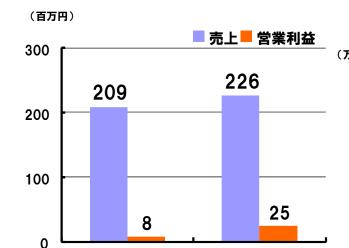
- ・前Q比 増収増益を継続
  - 純広・タイアップ型広告ともに売上増加(前Q比+8%)
  - 音楽情報メディア「BARKS」、11,12月の営業黒字
- ・新商品開発とメディアカの強化
  - Twitter連動ニュース解説サイト「OneTopi」開設
  - ターゲットINDEX商品「Windows 7」関連で売上に貢献
- ・iPhone 3G向けアブリケーションが順調に成長

H22/3期 第3四半期業績

- 累計29万ダウンロード(前Q比+5万)
- 広告商品の販売拡大

#### ◇ 平成22年3月期 第4四半期以降の施策

- ・増収増益の継続
  - タイアップ商品の価格戦略の見直し
  - コストコントロールの継続
- ・ターゲティング型商品の販売強化
  - ターゲットINDEXのビジネス領域への拡販
  - フレッシュリードの継続拡販
- ・メディア力強化と新商品開発
  - Twitterを活用した「OneTopi」を拡大
  - スマートフォンの対応を強化



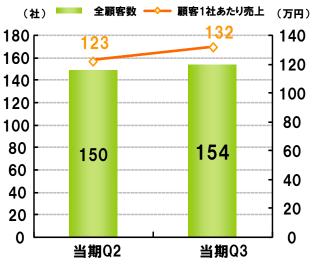
当期Q3

#### iPhone向けアプリケーション ダウンロード数の推移

前Q比 50,000增(+20.8%)



#### 広告主数の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数

注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

当期Q2

#### 人財支援事業部門

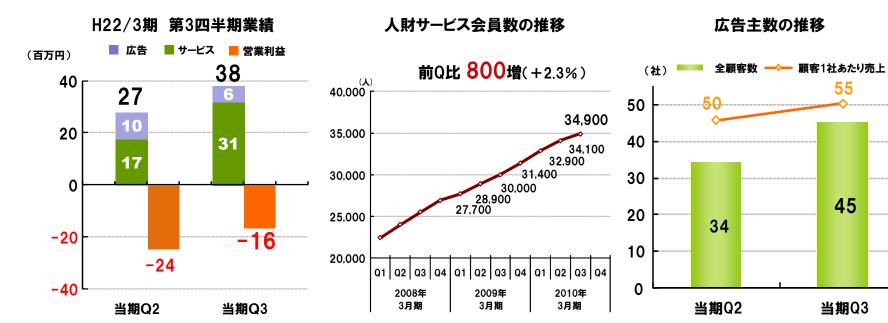


#### ◇ 平成22年3月期 第3四半期の事業動向

- ・前Q比 増収、赤字の縮小
  - 新メディア「IT業界就職ラボ」が広告掲載を開始し、 業績に貢献
  - コスト削減により営業損失を圧縮
- ・CGM型メディアが順調に成長
  - 「エンジニアライフ」が順調に推移
  - IT技術者を中心としたコラムニスト数125人に増加
- ・会員数は順調に伸長
  - 現職IT技術者中心に伸長。前Q比800名増(+2.3%)

#### ◇ 平成22年3月期 第4四半期以降の施策

- ・赤字幅の縮小
  - 継続的なコスト削減
  - コンテンツ事業の収益化により業績貢献
- ・求人新商品の投入
  - 検索エンジン企業との協業による求人情報の提供開始
- ・人材・教育市場に対し、バーチャルイベントを拡販
  - 新卒・中途採用セミナーなど



注1: 会員数は四半期末時点の累計数

注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

(万円)

60

50

40

30

20

10

0

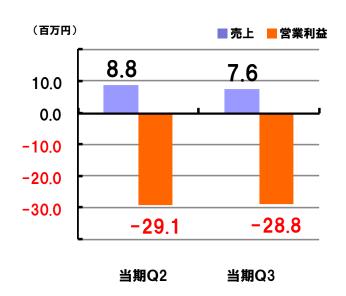
#### zoome株式会社



#### ◇ 平成22年3月期 第3四半期の事業動向

- ・前Q比、赤字幅の縮小
  - 配信最適化によるインフラコスト削減
  - 新商材(オンラインセミナー)による売上貢献
- ・メディアカの強化
  - ゲームメーカーとの共同企画により動画投稿を促進
  - 視聴者数の増加(前Q比+5.1%)
- ・個人課金サービスの提供
  - 高い満足度を投稿者に提供する課金サービスを追加

#### H22/3期 第3四半期業績



#### ◇ 平成22年4月期 第4四半期以降の施策

- ・メディアカの強化
  - 得意とするゲーム分野などの分野に注力し、ユーザーコミュニ ティを拡大
- ・ゲーム分野の顧客開拓
  - メディアカの強化と合せ、ゲーム分野の広告主に対する営業 活動を強化
- ・企業向けに新サービスを追加
  - 配信インフラの提供に加え、映像ソリューションのワンストップ サービスを提供開始

#### メディア規模の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数

注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

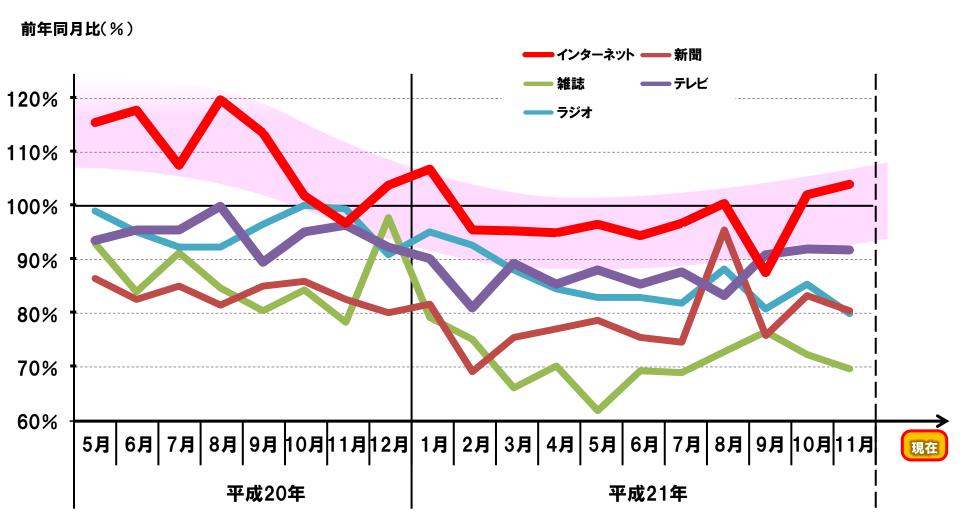


## 現状認識と今後の経営目標

## 広告市場動向

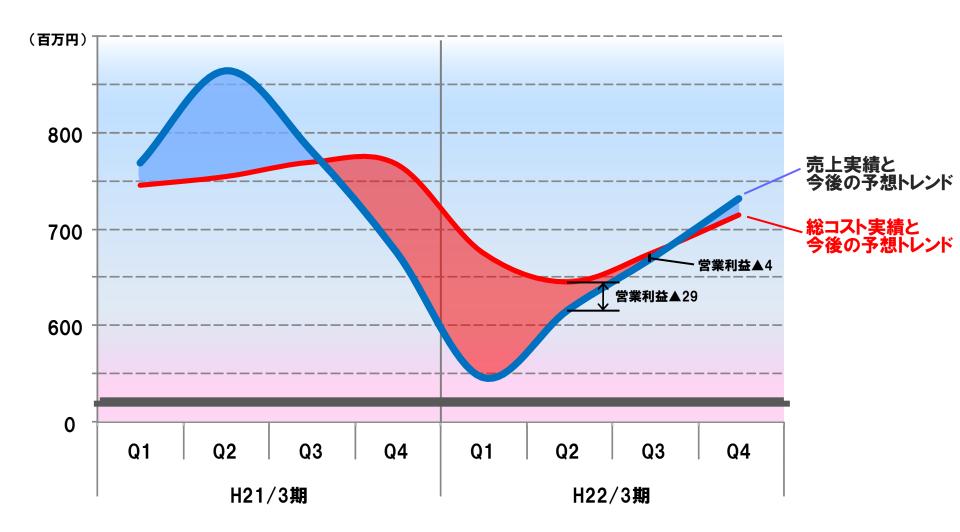


#### 一昨年後半より大手顧客が広告費を大きく抑制、広告市場全体が縮小



## 当社業績トレンド(連結)







- 1. 営業黒字の回復
  - > 第4四半期に連結営業利益の黒字化
- 2. 次期成長ビジョン・戦略の策定
  - ▶ 第4四半期(現在)
- 3. 売上拡大と成長力の回復
  - 来期より対前年比売上増で計画策定中

## E2パブリッシング社の買収経緯と今後の戦略

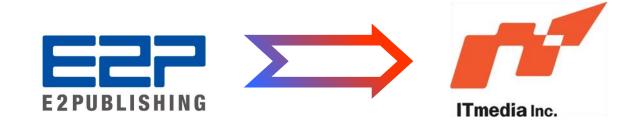


## 来期、当社の強みであるIT隣接領域分野の1つ、エレクトロニクス分野への事業を拡大

平成22年1月1日: E2パブリッシング株式会社を100%連結子会社化

平成22年3月1日:同社を合併統合の予定

E2パブリッシング株式会社の保有するエレクトロニクス系読者 プロファイル(約3万人)に向けた、ターゲティング型商品の強化 など、事業シナジーの早期実現と、運営効率の向上を図り、同 分野の事業群により、増収増益を見込む



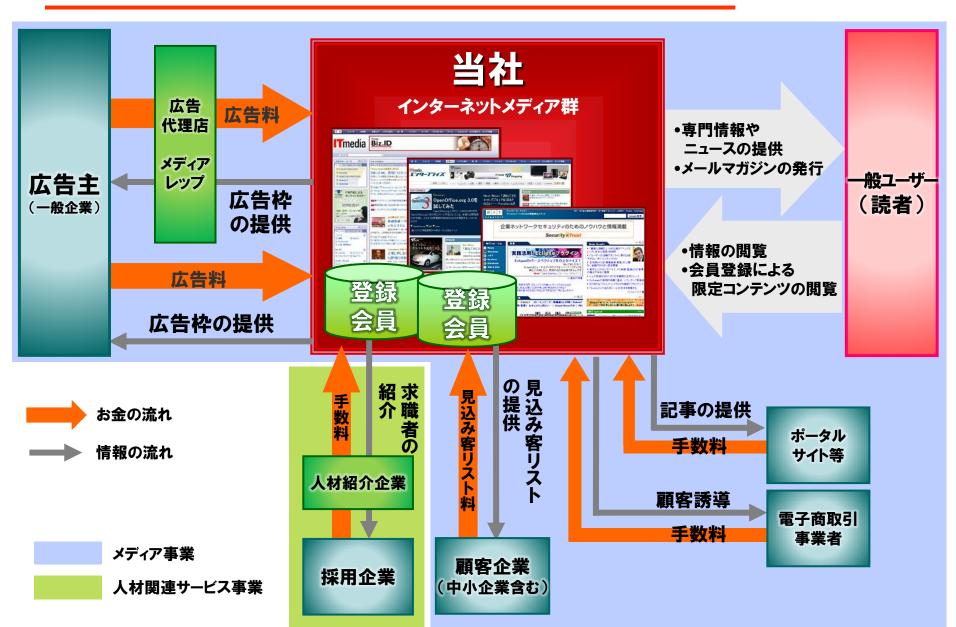


ご参考資料:アイティメディアとは

ビジネスモデル及び会社概要

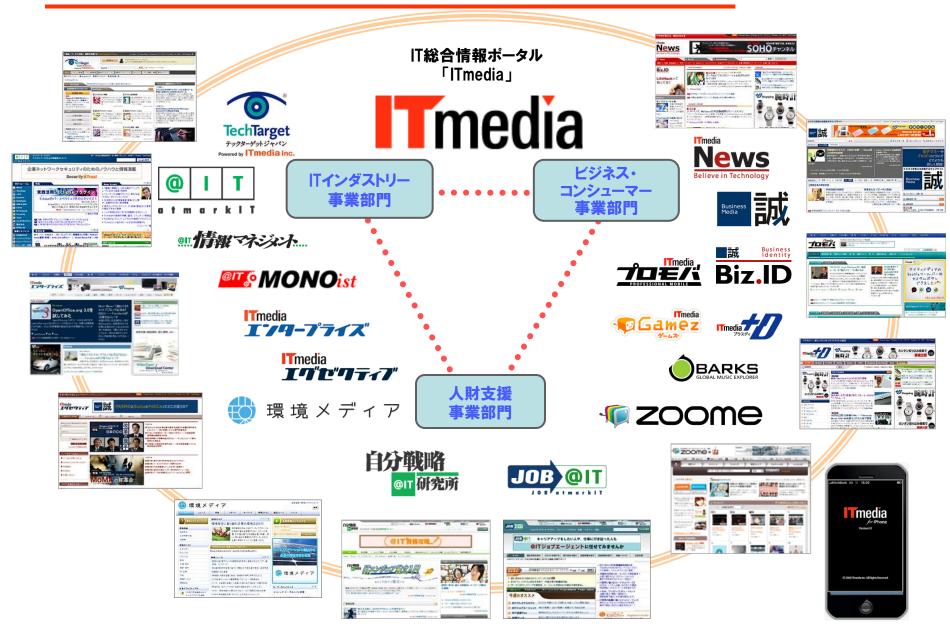
#### 当社のビジネスモデル





#### アイティメディアの運営する主なメディアとサービス







設立年月日 1999年12月

資本金 16億20百万円(平成21年12月31日現在)

代表者 代表取締役社長 大槻 利樹、代表取締役会長 藤村 厚夫

所在地 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル7F

事業内容 情報技術関連分野をテーマとした、

インターネット専業メディアの開発と運営

従業員数 198名(平成21年12月31日現在)

主要株主 ソフトバンク メディア マーケティング ホールディングス(株)

ヤフー(株)他